

まち
ニライの都市をめざす



議会だより

83

2016年3月定例会
発行
2016年5月

わくわくっ
ドキドキっ 1年生!!

(北玉小学校新1年生)

平成 28 年度 一般会計予算	P 2 ~ 4
平成 27 年度・28 年度 事業箇所	P 6 ~ 7
抗議決議・意見書・陳情	P 11
議決結果賛否一覧表	P 12 ~ 13
一般質問 14人が登壇!	P 14 ~ 27

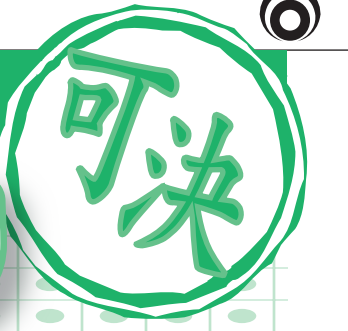
特集 どうなる子どもの貧困対策 P 28 ~ 29



我が町の家計簿

平成28年度一般会計予算

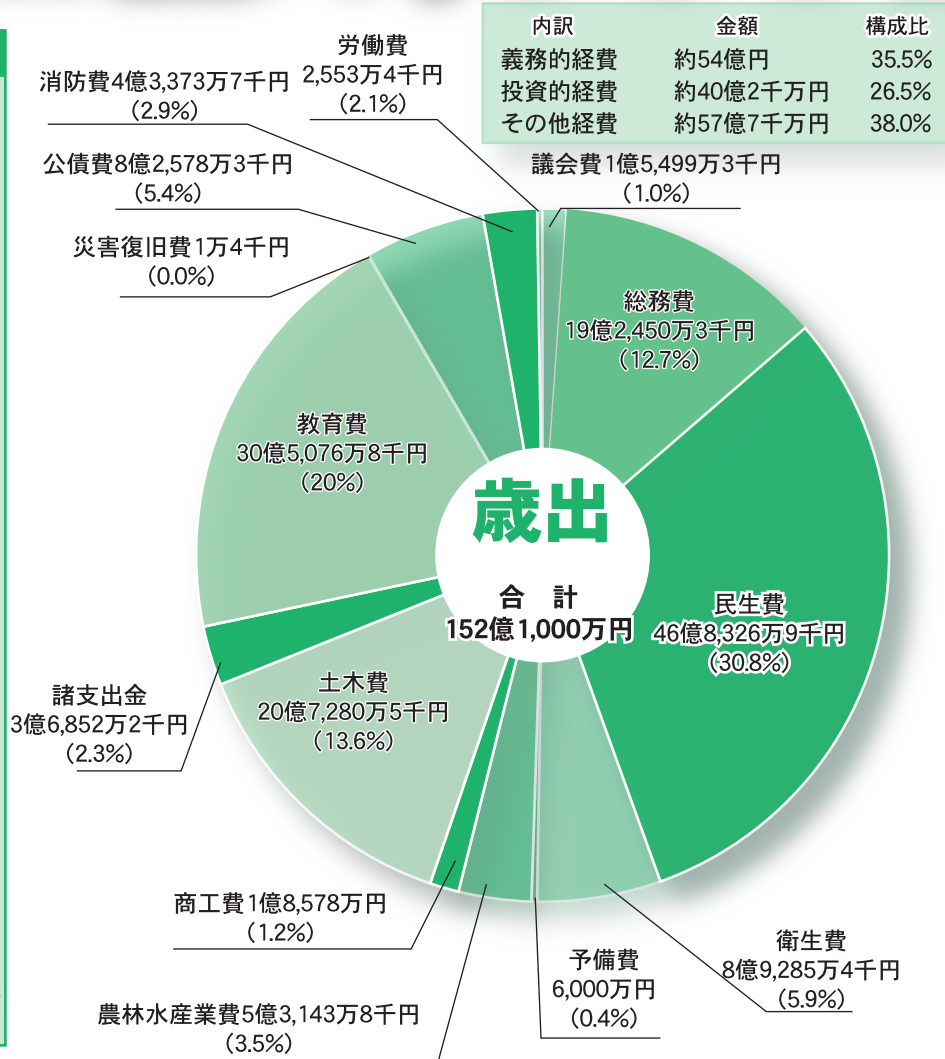
152億1,000万円のまちづくり



(対前年度比 2億3,000万円増) (一括交付金含む)

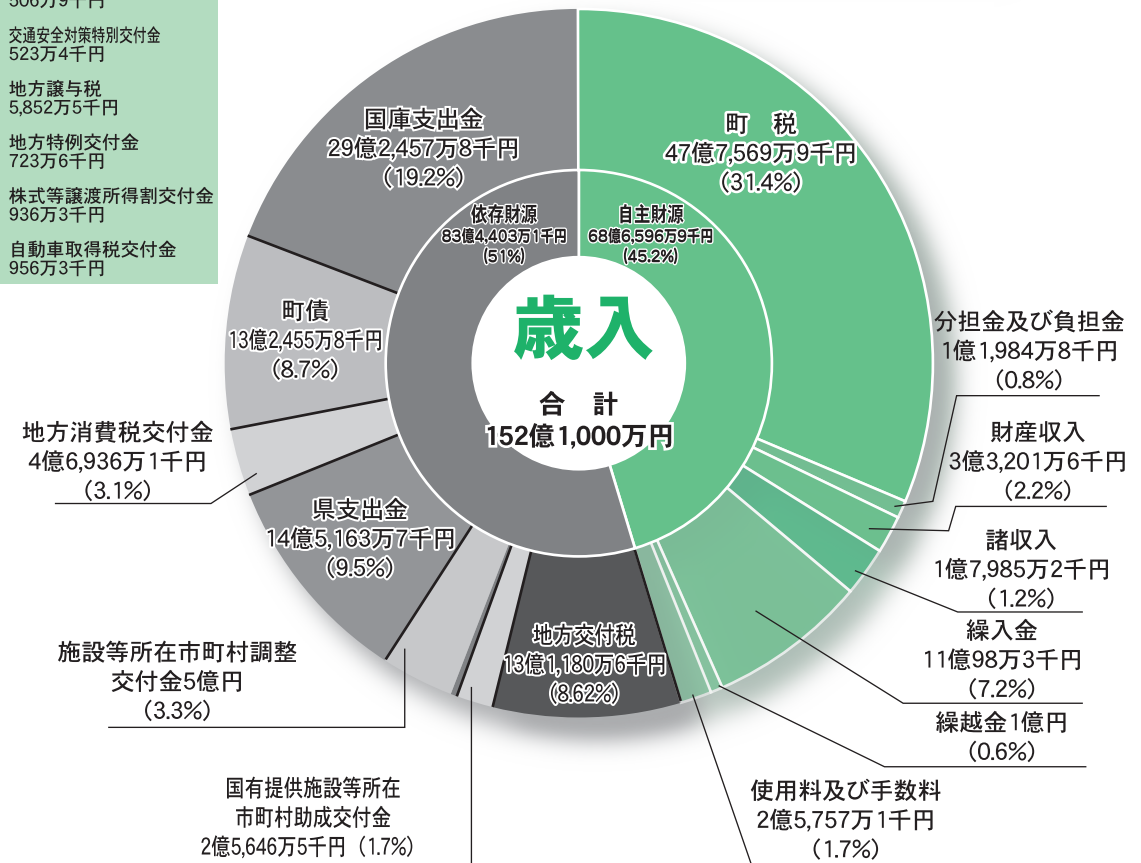
用語解説

- ◆ **自主財源**
町が自主的に収納することができる財源で財産収入・町税など。
- ◆ **依存財源**
国や県から割りあてられる補助金や交付金。
- ◆ **町税**
町民税や国定資産税、軽自動車税、入湯税、たばこ税など。
- ◆ **地方交付税**
一定水準の行政を維持するために必要な額を補償する財源で、国が交付する。
- ◆ **国庫、県支出金**
事業などの特定目的の財源として、国、県から交付される。
- ◆ **国有提供施設等所在市町村助成交付金**
国有資産・施設等が所在する市町村に固定資産税の代替え財源として交付されるもので、一般に「基地交付金」と言われている。
- ◆ **施設等所在市町村調整交付金**
米軍資産、施設が所属する市町村の財政補給的な性格の交付金。
- ◆ **公債費**
借入金の返済をするお金。



- 寄附金 3千円
- 配当割交付金 1,063万3千円
- 利子割交付金 506万9千円
- 交通安全対策特別交付金 523万4千円
- 地方譲与税 5,852万5千円
- 地方特例交付金 723万6千円
- 株式等譲渡所得割交付金 936万3千円
- 自動車取得税交付金 956万3千円

内訳	金額	構成比
自主財源	68億6,596万9千円	45.2%
依存財源	83億4,403万1千円	54.8%



予算編成

平成28年3月定例議会では、町民福祉の向上、教育環境の充実、地域経済の活性化、公共施設の整備が可決され、新たな事業として、北谷町宮城児童館放課後児童クラブ、特定不妊治療費助成事業などが組み込まれた。

歳出予算増減のポイント

増加 (対前年度比)

- ◎ **民生費**
- ◎ **児童福祉費** (8千160万6千円)
子どもの貧困緊急対策事業、安心子ども基金小規模保育施設促進事業により。
- ◎ **水産振興費** (2千226万4千円)
農林水産品等販売支援委託料により。
- ◎ **土木費**
- ◎ **土地区画整備費** (3億2千314万4千円)
桑江伊平地区区画整理事業により。
- ◎ **公園費** (1億5千116万円)
町営プール改修事業により。
- ◎ **教育費**
- ◎ **学校建設費** (3億957万5千円)
北谷第二小学校改築事業、北谷第二小学校併行防音事業、浜川小学校屋外運動場整備事業により。

減少 (対前年度比)

- ◎ **民生費**
- ◎ **社会福祉総務費** (4千292万2千円)
国民健康保険特別会計繰出金の減。
- ◎ **衛生費**
- ◎ **清掃総務費** (4千760万2千円)

歳入予算増減のポイント

増加 (対前年度比)

- ◎ **町税** (2億4千625万5千円)
新築家屋の増、及び大型ホテル建設に伴う償却資産の増。
- ◎ **国庫支出金** (1億1千64万2千円)
小規模保育事業所の増加を見込んだ地域型保育給付負担金の増額。
- ◎ **地方消費税交付金** (6千729万1千円)
消費税増税により。
- ◎ **沖繩振興特別推進市町村交付金** (一括交付金 5千189万5千円)
コミュニケーションバス導入検討事業、特定駐留軍用地内土地取得事業、町営プール改良事業、北谷町文化発信拠点事業により。

減少 (対前年度比)

- ◎ **沖繩振興公共投資交付金** (1億2千39万7千円)
町営砂辺住宅建替整備事業の完了のため。
- ◎ **繰入金** (1億5千633万9千円)
歳入不足の調整に充てる財政調整基金、普通財産処分金運用基金、キャンプ桑江北側返還跡地まちづくり基金、浜川漁港多目的利用施設整備地区開発基金、特定駐留軍用地内土地取得事業基金。

健康で生き生きと活躍できる活力に満ちたまちー！ ー特に力を入れる施策ー

- 西海岸一帯の資源を生かした、国際リゾート地の形成を推進し商観光産業の活性化を図る。
- 北谷町観光情報センターを発信拠点とした観光サービスの展開と観光プロモーションの推進。
- 町民が安全で安心な生活が送れるよう消費生活相談室の継続設置。
- ハローワークと連携した若年層や女性に対する就業支援。
- うみんちゅワーフを拠点とした海の資源を活かした観光の提供、農林水産物、他特産物の展示販売の実施。
- 町民農園を活用した生きがいづくり。
- 駐留軍用地の返還と跡地利用の推進。
- 北谷城等の国史跡指定の取組み推進。

夢が生まれ活気あふれる元気なまち

- 平和の尊さを広め、平和で安らぎのあるまちづくりを推進。「広島・長崎平和学習派遣事業」や「戦争と平和についての講話会」の実施。
- 平和ガイドの育成、戦跡等の調査・保存に努める。
- 米軍基地から派生する環境問題や米軍人等による事件・事故について速やかな公表と安全管理の徹底等を日米の両政府関係機関に対し、強く求めていく。
- 「北谷町男女共同参画推進条例」を制定し男女共同参画の推進。
- 町内の各幼稚園・小中学校において「男女で区別しない名簿」の導入。

平和の心を育み、個性が輝くまち

- 子どもの居場所づくりに取り組む
- 「北谷町子ども・子育て支援事業計画」の推進。
- 特定不妊治療費助成事業の実施。
- 公的施設を活用し放課後児童クラブ&小規模保育事業等の設置・認可促進。
- 「子ども医療助成事業」は、中学卒業まで自己負担分を全額助成。
- 認可外保育施設の保護者支援として同一世代に就学前児童が3人以上いる場合、保育料が無料となるよう負担軽減を図る。
- 乳がん検診、子宮頸がん検診の無料化、特定健診及びがん検診の受診率向上に取り組む。
- 町民及び地域における障害への理解を深め、人権尊重を重視する施策の推進。

色々な絆で支え合い誰もがいきいきと住み続けられるまち

- 事業系ごみの分別推進や草木類資源化処理の推進でごみの減量化を図り、循環型社会の形成を推進。
- 町ホームページのリニューアル、広報誌や広報無線等の充実を図り町民と行政の情報共有を推進。
- 経常経費削減と事務の効率化等を図るため、関係市町村と連携し広域行政の推進。
- 限られた財源を効率的、効果的に活用。

自然とともに生きるまち

- 幼稚園、小中学校において「学びのプロジェクト」を実施。
- 学習支援体制として、学力向上学習支援員、放課後学習支援員の派遣。
- 国際性豊かな人材育成のため「英国派遣交流事業」等、諸施策を実施する。
- 青少年健全育成協議会や青少年支援センター等の関係機関と連携して青少年の健全育成を強化する。
- 桑江総合運動場の改修など体育施設の環境整備の充実を図る。
- 国指定史跡伊礼原遺跡や町立博物館の整備に取り組む。
- 北谷第二小学校の全面改築工事、桑江中学校屋内運動場耐震補強工事の実施。
- 学校給食センターの建替えを推進する。

豊かな心と夢あふれる教育・文化・スポーツのまち

- 防犯リーダーの育成、防犯活動の推進。
- 地域の防犯組織設立&活動支援で安全で安心して暮らせる環境づくりに取り組む。
- 町民の生命と財産を守り、住みよいまちづくりのため交通安全運動の推進。
- 「下水道長寿命化計画」事業の推進。
- 日比川改修事業、北前地区護岸改修は、県や関係機関と連携して取り組む。
- 自主防災組織の結成や災害時要援護者の支援体制づくりに推進。

誰もが住みたくなる快適で安全・安心なまち

平成28年度 特別会計予算



国民健康保険特別会計

46億593万6千円 (前年比 1億2千万円 約2.5%増)

歳入：一般被保険者国民健康保険税 7億5,027万2千円 国庫支出金 9億7万7千円
県支出金 2億5,453万円 一般会計繰入金 6億3,601万1千円等

歳出：被保険者療養給付金 高額療養費 出産育児一時金 葬祭諸費
後期高齢者支援金 特定健康診査等事業費等に用いられる。

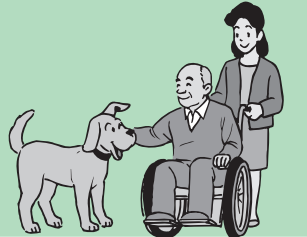


後期高齢者医療特別会計

3億2,010万2千円 (前年比 738万2千円 約2.4%増)

歳入：後期高齢者医療保険料 2億5,604万円
一般会計繰入金 6,345万4千円

歳出：後期高齢者医療広域連合へ 2億9,891万9千円
(75歳以上の医療費等に用いられる。)



公共下水道事業特別会計

9億1,640万円 (前年比 1億128万6千円 約12.4%増)

歳入：下水道使用料 4億3,854万円 国庫支出金 2,500万円
県支出金 8,400万円 一般会計繰入金 1億5,291万3千円等

歳出：流域下水道処理負担金 3億1,283万8千円 下水道事業費 3億6,258万8千円等
水洗便所改造資金補助金 400万円 町債借入残高の償還 1億3,292万5千円等



水道事業会計

9億8,149万3千円 (前年比 4,750万4千円 約5.1%増)

収入：給水収益 6億8,372万6千円 (給水戸数 1万1,892戸)
基地給水 2億152万2千円 (嘉手納・キャンプ瑞慶覧)

支出：受水費 4億9,037万2千円 配水・給水費 9,766万5千円
建設改良費 8,625万4千円 (配水管布設工事費) 企業債償還金4,890万7千円



平成27・28年度事業箇所

① 桑江17号線新設事業
 (特定防衛施設周辺整備調整交付金)
 事業計画年度：平成14年度～平成28年度
 平成28年度繰越事業費：用地購入・道路改良工事(6,186万9千円)
 平成28年度事業費：7,600万円



② 町立博物館整備事業
 平成27年度：事業費(4,151万8千円)
 (補助率80%)
 平成28年度：事業費(8,346万8千円)
 (一括交付金充当事業)




③ 伊礼原遺跡保存整備事業
 平成27年度：事業費(1,662万4千円)
 (補助率80%)
 平成28年度：事業費(6,027万円)
 (補助率80%)



④ 農業振興対策事業
 (町民農園整備) 128区画
 事業計画：平成24年度～平成27年度
 平成27年度：整備工事費(4,218万7千円)



⑤ 宮城1号線改良事業
 事業計画年度：平成25年度～31年度
 全体事業費：5億4,000万円
 (補助80%)
 平成28年度事業費：1億800万円
 (補助率80%)



⑥ フィッシャーナ整備事業
 平成27年度事業費：4億8,261万6千円
 平成28年度(予定)事業費：4億1,722万8千円



⑦ 美浜地区交差点改良事業
 (補助率80%)
 27年度事業費：3,690万円
 (道路改良工事・桑江浜川線)
 28年度事業費：3,000万円
 (道路改良工事・国道側)



⑧ サンセットビーチ改良事業
 平成27年度：(基本計画策定業務) 987万円
 平成28年度：実施設計(予定)



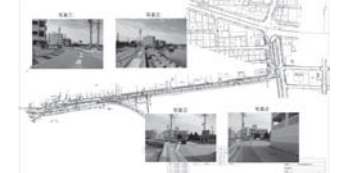
⑪ 庁舎周辺整備事業
 27年度事業費：3,048万8千円
 28年度事業費：2,510万5千円



⑫ 宇地原排水路改修工事
 平成26年度：排水路改修工事実施設計
 平成27年度：関係者との協議
 平成28年度：排水路改修工事



⑬ 北前安良波線改良事業
 27年度事業費：1,728万円
 28年度事業費：878万円



⑭ 北前地区冠水対策事業
 (9条交付金)
 28年度事業費：500万円



⑨ 町営プール改良事業
 平成26年度：(基本設計) 365万4千円
 平成27年度：(実施設計) 1,380万3千円
 平成28年度：(工事) 2億5,000万円



⑩ 可視光(LED)通信実証実験事業
 総事業費：993万6千円
 (補助率80%)



⑮ 北谷第二小学校改築事業
 事業期間：平成25年度～平成28年度
 総事業費(H27年度～H28年度)：22億876万7千円

⑯ 桑江伊平土地区画整理事業
 総事業費：66億円(補助率90%)
 平成27年度繰越明許：事業費(3,812万5千円)
 [予算額：6,363万1千円]
 平成27年度(現年)：事業費(1億4,679万2千円)
 [予算額：2億1,915万9千円]
 平成28年度事業費：5億7,102万2千円

⑰ 桑江中学校舎耐震対策事業
 事業期間：平成28年度～平成30年度
 平成28年度：耐震診断調査業務(予定) 1,600万8千円

⑳ 北谷町着地型観光プログラム開発事業
 平成27年度：4,999万5千円
 平成28年度：5,000万円

⑱ 桑江中学校屋内運動場耐震対策事業
 実施期間：平成26年度～平成28年度
 平成28年度：耐震補強工事(予定) 3,500万円

⑲ 桑江総合運動場改修事業
 平成28年度：5,700万円
 (特定防衛施設周辺整備調整交付金)



条例の制定・改正・変更

北谷町職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例
地方公務員法（昭和25年法律第261号）の改正に伴い、同法を引用する条文の改正及び字句の整理、人事行政に関する公表を行う項目について、関係条例を改正する必要がある。

北谷町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
国の人事院勧告及び沖縄県人事委員会勧告並びに社会経済状況等に鑑み、本町職員の給与等を改正する必要がある。また、地方公務員法（昭和25年法律第261号）の一部の改正及び行政不服審査法（平成26年法律第68号）施工に伴い、北谷町職員の給与に関する条例を改正する必要がある。

「条例の一部改正」

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
行政不服審査法（平成26年法律第68号）の施行に伴い、関係する条例について、不服申立てに関する規定の整理を行う必要がある。

「条例の改正」

北谷町行政不服審査会条例の制定
行政不服審査法（平成26年法律第68号）第81条第1項の規定に基づき北谷町行政不服審査会を設置するため、条例を制定する必要がある。

「条例の制定」

北谷町男女共同参画推進条例
男女共同参画を総合的かつ計画的に推進し、男女共同参画社会の実現を目指すため、必要な事項を条例で定める必要がある。

沖縄県介護保険広域連合を組織する地方公共団体の増加及び規約の変更
平成29年4月1日から沖縄県介護保険広域連合を組織する地方公共団体に西原町を加入させること及び介護保険法の改正により「地域支援事業」に関する改正がなされ、同事業について、構成市町村が地域の実情に応じて、支え合いの体制づくりを推進することになったことにより、沖縄県介護保険広域連合規約の一部を変更することについて、地方自治法第291条の11の規定により議会の議決が必要。

「規約の変更」

北谷町営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
宮城屋外運動場に設置している照明の利用料金を規定するため、北谷町営体育施設の設置及び管理に関する条例（昭和52年北谷町条例第6号）を改正する必要がある。


北谷町特定駐留軍用地内土地取得事業基金条例の一部を改正する条例
沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用に関する特別措置法（平成7年法律第102号）が改正されたことにより、特定駐留軍用地に加え、特定駐留軍用地跡地の土地についても先行取得ができることとなったことから、本町においても今後の土地取得期間の延長を可能とするため、条例の一部を改正する必要がある。

「条例の一部改正」

北谷町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部を改正する条例
期末手当の支給割合を改定する国及び沖縄県の特別職及び北谷町の職員との均衡を考慮し、北谷町長、北谷町副町長、北谷町教育長及び北谷町議会議員の期末手当の支給割合を引き上げる必要がある。

平成27年度 北谷町一般会計・特別会計補正予算

一般会計

補正額 5億8,415万2千円
予算総額 167億9,133万2千円 

歳入予算：地方交付税の補正、国・県支出金等の補正、繰越金の補正、
歳出予算：北谷第二小学校の校舎改築工事及び屋内運動場耐震補正強工事の実績に基づく減

国民健康保険特別会計

補正額 1,121万7千円
予算総額 47億6,018万円 

歳入予算：滞納繰越分の今年度収入見込みから増額補正。
歳出予算：主に社会保障・番号制度導入事業におけるシステム改修委託の契約実績に伴う執行残予算の減

後期高齢者医療保険特別会計

補正額 195万4千円
予算総額 3億1,402万3千円 

歳入予算：社会保障・番号制度システム整備事業の契約実績に基づく減額
歳出予算：社会保障・番号制度事業の予算執行残額を減額

公共下水道事業特別会計

補正額 528万円
予算総額 8億6,745万8千円 

歳入予算：一般会計繰越金は、雨水に係る事業費において執行残が生じたこと、公債費の利子において今年度の償還額が確定
歳出予算：一般管理費の減額



抗議決議・意見書・陳情

承認・契約・同意・報告

可決

請負契約変更

奈留川排水路POL部分改修工事請負契約の変更

【変更理由】 工事内容の変更
 【変更内容】 試掘調査中に発見された用途不明管等の地下埋設物の移設及び撤去工事等の追加実施
 【追加金額】 3千526万2千円

契約相手方
 住所 北谷町字浜川48番地
 商号 旭建設株式会社
 代表者 代表取締役社長 翁長 淳

可決

請負契約

北玉公園第二期工事請負契約

【契約の目的】 北玉公園第二期工事
 【契約の方法】 指名競争入札
 【請負契約金額】 1億7千64万円

契約相手方
 住所 北谷町字玉上218番地
 商号 北谷町建設株式会社
 代表者 代表取締役 崎原 盛光

可決

専決処分報告

北谷町公共下水道改築工事(吉原第4工区)請負契約の変更(平成28年2月22日に専決処分)

【変更理由】 設計変更
 【変更内容】 設計変更に伴い請負契約を変更
 【変更減額】 363万9千600円

契約相手方
 住所 北谷町字玉上218番地
 商号 北谷町建設株式会社
 代表者 代表取締役 崎原 盛光

可決

請負契約変更

平成27年度桑江伊平地区造成工事(その2)請負契約の変更

【変更理由】 工事内容の変更
 【変更内容】 現況測量の結果に伴い、地中への雨水浸透防止として表土置換え等を追加。また、2街区5画地の掘削工事において、現況地盤の大部分が岩であることがわかり、土砂掘削から軟岩掘削へ変更。更に、平成26年度2月に陥没が発生し、調査及び対策のため未設置となっていた7街区擁壁設置の追加。
 【追加金額】 1千152万3千600円

契約相手方
 住所 北谷町字浜川48番地
 商号 旭建設株式会社
 代表者 代表取締役社長 翁長 淳

可決

請負契約

北谷第二小学校校舎併行防音工事(除湿・換気)請負契約

【契約の目的】 北谷第二小学校校舎併行防音工事(除湿・換気)
 【契約の方法】 指名競争入札
 【請負契約金額】 9千623万8千800円

契約相手方
 住所 北谷町字桃原15番地10
 商号 株式会社海邦・有限会社島設備
 代表者 代表取締役 玉城 光子
 構成員 有限会社島設備 代表取締役 島袋 幸得

承認

専決処分の承認

北谷町条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

平成28年度与党税制改正大綱(平成27年12月16日決定)において、地方税分野の一部の手續きにおける個人番号の利用の取り扱いを見直す方針が示されたことに伴う改正

可決

請負契約変更

平成27年度北谷公園線無電柱化整備工事請負契約の変更

【変更理由】 入札差金を活用して事業の促進目的で次年度予定個所に前倒しで実施
 【変更内容】 歩道部のインターロッキングブロックの設置工事の追加工事
 【追加金額】 977万7千960円

契約相手方
 住所 北谷町字砂辺301番地7
 商号 有限会社 北原土木
 代表者 代表取締役 喜如嘉 朝和

可決

請負契約変更

宮城1号線改良工事請負契約の変更

【変更理由】 入札差金を活用して事業の促進目的で次年度予定個所に前倒しで実施
 【変更内容】 道路側溝や舗装工事の追加工事
 【追加金額】 1千144万8千円

契約相手方
 住所 北谷町字浜川48番地
 商号 旭建設株式会社
 代表者 代表取締役社長 翁長 淳

可決

請負契約変更

奈留川排水路POL部分改修工事請負契約の変更

【変更理由】 土留工事実施中の地盤沈下等に伴い、土留工法検討の調査設計が必要となり、今年度内の実施・継続が困難となった。
 【変更内容】 本工事の施工出来高に対する請負金額の変更
 【変更減額】 5千235万8千400円

契約相手方
 住所 北谷町字浜川48番地
 商号 旭建設株式会社
 代表者 代表取締役社長 翁長 淳

可決

抗議決議及び意見書

米軍の外来木飛来・暫定配備・訓練に抗議し、即時撤去を求める抗議決議及び意見書

米軍人による準強姦容疑事件に関する抗議決議及び意見書

宛先 抗議決議が米国及び関連米軍機関。意見書が衆参両議院議長はじめ日本政府関係機関

可決

米軍の外来木飛来・暫定配備・訓練に抗議し、即時撤去を求める抗議決議及び意見書

可決

日米地位協定の見直しを求める意見書

宛先 抗議決議が米国及び関連米軍機関。意見書が衆参両議院議長はじめ日本政府関係機関

宛先 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣官房長官沖繩及び北方対策担当大臣、外務省沖繩特命全権大使、沖繩防衛局長

可決

沖繩県の道路網の整備促進に関する意見書

宛先 内閣相違大臣、国土交通大臣、財務大臣、内閣官房長官、沖繩及び北方対策担当大臣、沖繩総合事務局長

趣旨採択

米北谷町上勢頭地区における有害物質検出問題に関する北谷町対応についての陳情

※経済工務常任委員会で継続調査を行うことになった。

同意

北谷町教育委員会教育長の任命



かわかみ けんいち 川上 啓一

【提案理由】 任期満了に伴い、新たに教育委員会教育長を任命する必要がある。

同意

監査委員の選任



たなはら かずよし 棚原 和芳

【提案理由】 任期満了に伴い、新たに監査委員を選任する必要がある。

指定管理者の指定

指定管理を行わせる公の施設・・・指定管理者

- 上勢地区学習供用施設・上勢屋外運動場・・・上勢区自治会
- 桃原地区学習供用施設・・・桃原区自治会
- 栄口地区学習供用施設・栄口屋外運動場・・・栄口区自治会
- 謝苺地区学習供用施設・・・謝苺区自治会
- 北玉地区学習供用施設・・・北玉区自治会
- 宇地原地区学習供用施設・・・宇地原区自治会
- 北前地区学習供用施設・北前屋外運動場・・・北前区自治会
- 宮城地区学習供用施設・宮城屋外運動場・・・宮城区自治会
- 砂辺地区学習供用施設・・・砂辺区自治会
- 美浜地区学習供用施設・・・美浜区自治会
- 桑江地区学習供用施設・・・桑江区自治会

公募によらず、これまでの指定管理者として適切に管理運営を行ってきた実績から、選定委員会(平成28年2月4日)において各自治会を選定、議会で可決された。桑江地区学習供用施設(体育館)今期から空調設備を設置することにより、電気料金の補助がアップ。その他の指定管理料は、ほぼ変わりはない。

第442回～第444回 臨時・定例会 議決結果賛否一覧表

議案	議決結果	議席																		
		氏名	1 宮里 廣	2 高安 克成	3 友利 勉	4 喜友名 朝哲	5 喜友名 盛充	6 渡久地 政志	7 照屋 正治	8 龜谷 長久	9 大浜 ヤス子	10 仲栄 真恵美子	11 玉那覇 淑子	12 宮里 歩	13 與儀 誠	14 仲地 泰夫	15 阿波 根弘	16 目取 眞肇	17 金城 紀昭	18 中村 重一
第 4 4 2 回 臨時議会																				
奈留川排水路POL部分改修工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮城1号線改良工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度北谷公園線無電柱化整備工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分承認を求めることについて(北谷町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 4 4 3 回 臨時議会																				
北玉公園第二期工事請負契約について	可決	○	病	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
米軍の外來機飛来・暫定配備・訓練に抗議し、即時撤去を求める抗議決議	可決	○	病	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
米軍の外來機飛来・暫定配備・訓練に抗議し、即時撤去を求める意見書	可決	○	病	○	○	病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
第 4 4 4 回 定例議会																				
北谷町男女共同参画推進条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町行政不服審査会条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
北谷町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
北谷町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
北谷町特定駐留軍用地内土地取得事業基金条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
北谷町営体育館施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
中部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
沖縄県介護保険広域連合を組織する地方公共団体の増加及びこれに伴う規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
第 4 4 4 回 定例議会																				
北谷第二小学校校舎併行防音工事(除湿・換気)請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
上勢地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
桃原地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栄口地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
謝苅地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北玉地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宇地原地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案	議決結果	議席																		
		氏名	1 宮里 廣	2 高安 克成	3 友利 勉	4 喜友名 朝哲	5 喜友名 盛充	6 渡久地 政志	7 照屋 正治	8 龜谷 長久	9 大浜 ヤス子	10 仲栄 真恵美子	11 玉那覇 淑子	12 宮里 歩	13 與儀 誠	14 仲地 泰夫	15 阿波 根弘	16 目取 眞肇	17 金城 紀昭	18 中村 重一
北前地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮城地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
砂辺地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
美浜地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
桑江地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上勢屋外運動場の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栄口屋外運動場の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北前屋外運動場の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮城屋外運動場の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度北谷町一般会計補正予算(第5号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
平成27年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
平成27年度北谷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
平成27年度北谷町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
平成28年度北谷町一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度北谷町国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度北谷町後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度北谷町公共下水道事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度北谷町水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈留川排水路POL部分改修工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度桑江伊平地区造成工事(その2)請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
北谷町教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日米地位協定の見直しを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
沖縄県の道路網の整備促進に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
米軍人による準強姦容疑事件に関する抗議決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍人による準強姦容疑事件に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町上勢頭地区における有害物質検出問題に対する北谷町対応についての陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
閉会中の継続審査・継続調査・議員派遣の件																				
・委員会の閉会中の継続審査について(文教厚生常任委員会)										※議案賛成者は(○)とし、反対者は(×)とします。										
・委員会の閉会中の継続調査について(経済工務常務委員会、文教厚生常任委員会)										退席者は(退)、公務の欠席者は(公)、法定伝染病の欠席者は(病)										
・議員派遣の件										所用の欠席者は(欠)としています。議長は、採決に加わらないため斜線としています。法律により、採決に加わらない議案については(除)としています。										

※議会日より第82号の9ページ第439回臨時議会でCV23オスプレイと記述してありましたがCV22となりますので訂正しお詫び致します。



なかち やすお 仲地 泰夫 議員

Q うみんちゅワーフの収支計画は当初からどう変わったか？

A 指定管理者導入時にPM業務を新たに追加し 1千545万5千円から2千462万2千円に変わった



まだまだ空きのある海んちゅワーフ

うみんちゅワーフについて

問 当初の収支計画と現在はどうか変わったか。

答 指定管理者導入時にPM業務を新たに追加し指定管理料は1千545万5千円から2千462万2千円に変更。

問 PMのリーシング、キーテナント、店舗レイアウト等、当初の計画を伺う。

答 マリン事業の拠点となる機能を備え、地元の水産物や特産品を提供するエリア、農産物販売エリア、チャレンジショップエリアを配置。

問 現在までの入退去状況と撤退理由を伺う。

答 13社入居、5社退去。理由は、会社都合1件、事業継続困難が3件、その他1件。

問 町と指定管理者の役割分担は。
答 不可抗力については町が責任を負い、予測可能なものについては指定管理者が責任を負う。年間30万円以上の施設修繕や大規模修繕については町が責任を負い、年間30万円未満の施設修繕や施設内の事故、損傷等は、指定管理者が責任を負う。
問 一次産業の活性化、水産業、地場産業の活性化に努めているか。
答 野菜の地元出品者が5名で、まとまった野菜を集められない。特産品は、徐々に商品が増えていく。地元漁協のストランドで地元の鮮魚や地元漁協が養殖したアナアオサ等の海産物を取扱っている。
問 トータルコスト削減に努めているか。
答 一定程度のコスト削減が図られたが施設管理運営は、使用料とリース料金・指定管理料の不均衡が供用開始以降続いており、使用料の増収と指定管理料の低減が課題。リース料金は、繰上償還を検討。
問 今後の計画を伺う。
答 販売支援及びPRイベントの実施。宿泊施設及び商業

Q 特産品開発について、プロジェクトチームを設置する考えはないか。

A 地域ブランド認定制度等を進めていく中で、連絡会議等を開催し調整等を図っていきたく



おおはま ヤス子 議員

観光・商工の振興は

問 商品化を考え各関係団体のプロジェクトチームを設置する考えは。

答 「北谷町商工会賞」として表彰された物品は、特産品などPR等、観光事業と連携しながら取り組み、実際に観光客の方々と関係者等や学識経験者と考え地域ブランド認定制度等を進めていく中で、連絡会議等を開催し調整等図って行く。



老人福祉センター改修予定

問 「商工業研修等施設及び老人福祉センターの改修事業について、事業内容、工期及び利用者に対しての影響はないか。

響はないか。
答 平成29年度に改修工事を予定。工事内容は、両施設とも内外装、トイレ設備の改修及び、商工ホールの空調設備、音響設備及び舞台等の改修が主。利用者に対する影響は、工事期間を6ヶ月と見込んでいることから、トイレ、研修室及び商工ホールの使用について影響がでると思われる。トイレは、仮設トイレを設置し解消していく。
問 本町の具体的な事業計画は。
答 子どもの貧困対策を総合的に推進するため、副町長を筆頭に子どもの貧困対策に関する部署の部課長による「子どもの貧困対策庁内連絡会議」を設置し、関係部署で連携し、検証して行く。
※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。
行政懇談会について伺う
問 28年度の具体的な取組みについて伺う。
答 各行政区からの要望等は、迅速に対応。平成28年度は、主に、保安灯のLED

D化に向けた事業、コミュニティバス導入検討事業、宮城・港区公園東屋の設置及び上勢頭南公園階段改修設計等を行う。
D化に向けた事業、コミュニティバス導入検討事業、宮城・港区公園東屋の設置及び上勢頭南公園階段改修設計等を行う。
問 条例を制定するまでの取組みについて伺う。
答 平成26年度から、約2年間にわたり、条例制定に向けての取り組みを行ってきた。町職員で構成される男女共同参画推進本部において条例案を検討し、取りまとめた素案を町ホームページや情報誌「ハーモニー」などへ掲載。また、役場及び町立図書館でも閲覧場所を設置するなどして条例案を公開し、町民からの意見等を募集。
問 条例制定後の職員体制について伺う。
答 現在、町長室において平和行政・男女共同参画業務嘱託員1名、係長1名により担当業務を執行。条例制定後も現状と同じ体制で業務を執行。
問 女性管理職について本町の現状について伺う。
答 平成27年4月1日時点、課長級以上の女性登用率は30人中2人で6.7%。また、係長級の女性登用率は54人中33人で61.1%。
問 混合目簿について学校現場との協議は。
答 校長会の中で目的、趣旨、運用面等について協議を積み重ね、職員へ説明を行い、男女で区別しない名簿を導入。



整備事業がまたれる既存公園

男女共同参画について伺う

問 条例を制定するまでの取組みについて伺う。

答 平成26年度から、約2年間にわたり、条例制定に向けての取り組みを行ってきた。町職員で構成される男女共同参画推進本部において条例案を検討し、取りまとめた素案を町ホームページや情報誌「ハーモニー」などへ掲載。また、役場及び町立図書館でも閲覧場所を設置するなどして条例案を公開し、町民からの意見等を募集。

条例制定後の職員体制について伺う。

答 現在、町長室において平和行政・男女共同参画業務嘱託員1名、係長1名により担当業務を執行。条例制定後も現状と同じ体制で業務を執行。

コミュニティバスは

問 時期及びルート、料金等具体的な取り組みは。

答 実証運行の時期平成29年1月から5年間を予定。ルートは必要な公共施設及び砂辺公民館を出発地点とする北ルート、北前公民館を出発地点とする南ルートの2つのルート。中学生以上の方の方は200円、65歳以上、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、介助者、運転免許自主返納者及び小学生は100円、小学生未満は無料を考えている。

居宅介護支援拠点としてのコンビニ活用は。

問 民間事業者の福祉サービスの情報収集と周知を行い町民が安心して暮らせる環境整備はどうか。



行政サービスにコンビニの活用を!

若者住宅政策について

問 北谷町は家賃が高く、住みにくいとの声がある若者世帯に対する家賃補助の考えはないか。

答 国の補助制度等の財源がなく、また町独自で継続的な給付が財政上困難である事を踏まえ、現時点での実施は見合わせている。



なかむら しげかず
中村 重一 議員

Q 本町における介護保険対象者は何人、何世帯か

A 平成27年10月時点での介護保険の第一号被保険者数は5,019名、世帯数は3,483世帯

介護保険制度、地域包括ケアシステム、地域福祉について
問 介護保険の利用者負担が1割から2割になったが介護利用状況は、また、利用をやめた人はいるか。
答 本人の合計所得金額が160万円以上の所得がある方のサービス利用時負担割合が1割から2割へ変更となり、116名がその影響を受けている。利用を止めた事例の報告はない。
問 医療介護総合法により、介護制度はどのような変更が行われたか。介護利用者への影響は。
答 町民への影響として、平成27年4月から介護保険料が所得水準に応じた細かな設定がなされ、これまでの8段階から12段階に見直された。平成27年8月からは介護保険の費用負担の見直しにより、一定以上の所得のある方のサービス利用時負担割合が1割から2割へ変更、世帯内に現役世代並みの所得がある高齢者がいる場合、月々の負担上限額が3万7千200円から4万4千400円へ変更となる。

子どもの貧困問題に対する施策について

問 子どもの権利条約を制定し、子の権利も保証される街づくりを推進する考えか。
答 「子どもの権利条約」については、普及・啓発に努め、「子どもの権利条約」の制定については、今後の検証課題として、
※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。

米軍基地に関する問題について

問 安倍政権は新基地の埋め立て工事を一時中止することで翁長知事と和解。町長の所見を伺う。
答 国と県との和解が成立し、埋め立て工事が一時中断することは大変意義があり喜ばしいことと考えている。
問 大工廻川などから有機フッ素化合物(PFOS)が検出された。原因説明、嘉手納基地への立ち入り調



非介護者の人口は増すばかり



飲料として安全か比謝川の水



ともり つとむ
友利 勉 議員

Q サンセットビーチ改良事業の具体的な内容は

A 管理棟前面をスポーツレクができるよう海浜広場を拡大し、波浪の影響を低減する潜堤護岸、または、仕切ることで課題解決を行い、遊泳域を前面に展開する

施政方針を問う
問 第五次北谷町総合計画の施策内容、進捗状況等々有識者等、第三者によるチェック、評価する考えは。
答 庁内組織の策定委員会による、進捗状況の評価に基づいた計画案を取りまとめ、第三者機関である「北谷町総合計画審議会」へ諮問し、計画を策定する。
商工業・観光産業振興について
問 ハワイ視察研修の報告提言、今後の取組みは。
答 5つの提言を受けており、①ビーチの改良、②WiFi環境整備、③景観整備、④北谷町観光振興計画の推進、⑤北谷町観光振興協議会（仮称）の設立。今後の取り組みは、サンセットビーチの改良事業の推進・無料WiFi等の導入・検討、観光客の利便性の向上を図る、町景観計画に基づき、良好な景観形成を促進。
北谷町観光振興協議会（仮称）の設立については、今後関係各団体等と意見交換を行い検討する。
北谷町着地型観光プロ



サンセットビーチの改良は

グラム開発事業内容は。
答 アメリカンビレッジ内を周遊するコース設定で、外国人スタッフを招へいして修学旅行向けの外国語体験観光周遊プログラムを開発。
問 中城湾港への大型クルーズ船就航に伴う北谷町域への誘客施策、公共駐車場のバス専用駐車場の整備する考えは。
答 中部広域市町村圏事務組合で観光の課題抽出と取り組みについて議論。美浜公共駐車場のバス専用駐車場の拡充については引き続き、周辺駐車場との連携も含め検討。
問 アメリカンビレッジ地域の快適な環境条例制定の進捗状況を伺う。
答 地区内の公共施設の管理

火葬場建設を問う

問 火葬場、斎場建設に向けた今後の取組みは。
答 近隣市町村の情報収集、情報交換を図りながら、火葬場の整備を着実に進めるため、整備手法について改めて検討する。
問 火葬場、斎場建設に問う
答 町が実施している子育て支援施策の総合的な評価に基づき事業を検討する必要がある、全員の給食費を無料化については、調査研究。
※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。

子育て支援について

問 町内小中学校在学の子供たち全員の給食費を無料化する考えはないか。
答 町が実施している子育て支援施策の総合的な評価に基づき事業を検討する必要がある、全員の給食費を無料化については、調査研究。
※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。

環境汚染問題対策について

問 ポンプ場や北谷浄水場から検出された有機フッ素化合物(PFOS)への今後の対応、対策を伺う。また、汚染源調査を拒む日米地位協定を抜本改定すべきだと思いが如何か。
答 沖縄県企業局は沖縄防衛局への要請で連絡会議の設置や基地内立入も明記している。本町も、企業局の今後の対応等、情報収集を続け、三連協とも連携し、嘉手納基地の第18航空団に対し基地内の環境問題への安全対策の強化等、要請。
日米地位協定の環境補足協定の改定に向け取り組む。



北谷浄水場の水の安全は



てるや まさはる 議員
照屋 正治

Q 名護市辺野古への移設先の変更について

A 新基地建設で更なる基地負担増加になることが、到底認められないことである

問 名護市辺野古への移設先を変更せずとしていることから、懸念材料もあるが町長の所見を伺う。

答 新基地建設の工事が一時中止したことは、沖縄県の強い意思が成し遂げたものと思っております。

しかし、国は県との和解が成立した直後、辺野古への新基地建設の移設を堅持し推進していくことを、県と協議を行う前に発表し、是正指示が出されたことについては、断じて受け入れられないものである。

問 今年、戦後71年目なり平和ガイドも高齢化していると思うが、ガイドの育成の取り組みと米軍基地の戦跡の保存状況はどのようになっているか伺う。

答 本町でガイド養成講座を開催し、その受講生を中心に本町の平和学習等の講師として活動していただいた経緯がございますが、現在はそのような養成が進んでいない状況です。今年度は戦後70年の取り組みとして、広島・長崎平

基地問題・平和行政について問う



和学習派遣事業に参加した方の中から試験的に平和ボランティアを募集し若い世代の平和意識の高揚を図り、本町平和行政への関心を深めながら将来に向けた人材育成につなげていきたいと考えて行く。



平和な町の上空を戦闘機が飛び交う

問 募集要項では、平成28年2月12日から平成29年3月31日までの1年間。貸付期間の見直す考えはないか伺う。

答 抽選結果の内訳につきましては、上勢区2名、桃園区2名、栄口区3名、桑江區8名、謝苜区2名、北玉区2名、宇地原区3名、北前区7名、宮城區41名、砂辺區40名、美浜區14名となっております。

町民農園について問う



町民農園の運営方法は？

問 町民農園クラブへ加入することあるが、どのような内容が考えられるか伺う。

答 農園クラブの具体的な活動内容につきましては、野菜の収穫祭や即売会、園路やあぜ道等、共用部分の定期清掃といったイベントの実施を想定している。

問 社会福祉法人は2団体。貸付期間について問う。

答 現在の貸付期間につきましては、できるだけ多くの町民に利用の機会を与えるとともに、農園の貸付けにおける公平・公正性の観点から定められたものでありまして、今のところ、貸付期間の見直しは検討していない。



みやざと ひろし 議員
宮里 廣

Q 教育委員会バス、北玉小学校スクールバス業務を委託に変更した理由は

A 正規職員の退職に伴い、バスの故障や運転手の体調不良など万が一の場合でも台車や代替要員の手配ができる

問 ①教育委員会バス、北玉小学校スクールバス業務を委託に変更した理由②サービスタ下にならないか③使用者責任の帰属はどうなるか。

答 ①北谷町教育委員会移動学習バス運行規程を定め運行しており、業務を企業に委託した理由は、正規職員の退職に伴い、バスの故障や運転手の体調不良など、万が一の場合でも、代車や代替要員の手配ができるよう業務委託を行っている。②安全・安心に運行するために、生涯学習プラザにおいてバス運行業務の指揮監督を行っており、利用者は、利用申込書を3か月前から申し込み手続きをすることでサービスタ確保はできている。③責任の所在は、生涯学習プラザ館長を車両管理者にあて運行業務の指揮監督を行っており、契約書と仕様書にて業務委託の範囲、費用負担等の役割を取り決めている。

教育委員会バス、北玉小学校スクールバス運行委託について



スクールバスの運行委託は適正か？

シーポートちやたんカーニバルについて

問 ①町内在住の民謡歌手へ出演依頼は出来ないか。②職場対抗カラオケ大会及び沖繩角力大会の開催はできないか③オリオンビアフェスタとシーポートちやたんカーニバルをセットで開催しては。

答 第30回の節目の記念にあたり、シーポートちやたんカーニバルと併せて、町内在住の民謡歌手への出演依頼も含めて音楽祭等の実施に向け検討し取り組む。他2点の提案については、第30回の記念すべき祭を終えて、今後どうするか議論する。

プロ野球中日ドラゴンズの春季キャンプについて

問 キャンプに伴う施設費及び事業費等は。

答 施設整備費として、毎年2千万円から2千500万円。事業費は、平成27年度、69万8千円予算計上、中日ドラゴンズキャンプ等を歓迎する事業として、県外旅費、需用費、消耗品費、広告料等となっている。中日ドラゴンズ北谷協会の平成27年度予算は1千223万2千円となっている。

問 昨年度の春季キャンプの本町への経済効果は。

答 本町における中日ドラゴンズ春季キャンプの経済効果は、12億円。また、平成27年、キャンプ期間中の観客動員数は、2万5千900人。町内の宿泊施設で、約3千300人の宿泊と予想されている。

思いやりのある公共サービスについて

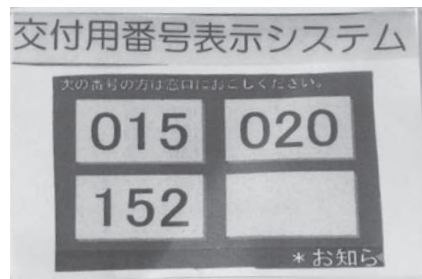
問 番号表示案内板システム導入について①設置した場面の予算額は②設置期間

子どもの貧困問題について

問 医療費の支払いが困難な家庭への医療費無料化事業を行ってはどうか。

答 県と市町村が連携し、医療費の支払いが困難な世帯に医療費「貸付制度」導入に向けて取り組んでおり、本町も平成28年10月開始を目指して取り組んでいる。

※詳細は特集28、29頁をご覧ください。



待ち合い所へのシステム設置は？

答 番号表示案内板の導入は検討していない。設置費用及び5年間の維持費で500万円から600万円程度、設置の調整期間は2か月から3か月程度。



めどるま はじめ
目取眞 肇 議員

Q 国の人口減少が進む中で本町の取り組みは

A 人口が安定的に増加が続く事を目標に北谷町総合戦略を作成

問 これまでのふるさと納税の取り組みを伺う。
答 平成20年度からふるさと納税の指定できる使途は「人・自然・地球にやさしいまちづくりに関する事業」「町民の健康増進・生きがいづくりに関する事業」「将来を担う子



ふるさと納税返礼は特産品を

ふるさと納税を問う

問 観光客の多様化に向けた関係団体との連携は。
答 まちづくりや特産品等をPRするツールとしても有効な制度。今後は関係課との連携を図りながら制度の趣旨をそこなわない範囲で返礼品等の導入を検討。



観光の目玉リゾートウェディング

問 人口減少が進む中、本町の取り組みは。
答 北谷町総合戦略に基づき、人口問題対策を行い、町の特色を生かし活力に満ちたまちづくりを推進したい。
問 観光物産プロモーション事業の香港での事業内容を伺う。
答 平成28年2月12日から3日間、「第82回香港バレンタインウエディングエキスポ」にリゾートウエディング誘致強化で出展参加。本町のパンフレット配布と町の知名度をアピール。

問 今後の避難訓練の取り組みは。
答 多くの参加を自治会長等と調整をしながら、創意工夫を凝らし取り組む。地域の防災力向上を図るため、自主防災組織の結成を促進する。
問 本町の地球温暖化防止に向けての取り組みは。
答 平成24年6月「北谷町地球温暖化防止実行計画」を策定。平成26年度までの計画期間内に、「節電対策」「省エネ」や「リサイクル」、「グリーン購入」等に取り組み、7.2パーセントの二酸化炭素排出量を削減（平成19年度比）。新たに平成27年度から平成32年度までを計画期間とした「北谷町地球温暖化防止実行計画第2次計画」を策定、地球温暖化防止対策に努める。



Q 幼児教育の無償化の取り組みは

A 国の動向に注視し、速やかな実施の準備を進めたい



たまな は ひでこ
玉那覇 淑子 議員

問 子どもの貧困対策は。
答 配置は予定しているが、支援員の配置先や資格等については、今後、検討する。
※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。

問 子どもの貧困対策は。
答 国では多子世帯、一人親世帯の保育料軽減強化予算計上。町は国の動向を注視する。
問 学校をプラットフォーム化した総合的な子どもの貧困対策とは。どう考えるか。
答 国では多子世帯、一人親世帯の保育料軽減強化予算計上。町は国の動向を注視する。
問 生活支援の、子ども食堂等居場所づくりの取り組みは。
答 地域で子どもの居場所づくりを推進する団体へ支援を検討していく。
問 就労支援取り組み方法は。
答 ひとり親家庭対象に、ハローワークと連携し、児童扶養手当受給者が現況届を提出の8月に臨時相談窓口を設置。今後、貧困世帯の就労支援を「子どもの貧困対策庁内連絡会議」で検討していく。
※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。

町民生活相談窓口ワンストップ化を問う



町民生活相談窓口のワンストップ化は？

問 生活困窮者の早い段階からの救済につながる、そののひとに寄り添った支援体制、支援のワンストップ化が必要と考えるが、所見を伺う。
答 国のモデル事業に注視し、一括相談窓口と現行の相談体

問 生活困窮者の早い段階からの救済につながる、そののひとに寄り添った支援体制、支援のワンストップ化が必要と考えるが、所見を伺う。
答 国のモデル事業に注視し、一括相談窓口と現行の相談体

問 町民の相談内容の多い事柄は。生活福祉資金貸付制度見直しの内容。周知方法は。
答 相談内容は平成27年8月末、第一仕事問題、第二に生活問題、第三にメンタルヘルス問題。見直し内容は、第一、生活困窮者自立支援制度と連携し、一翼を担う位置づけ、第二に、制度の総合支援資金及び緊急小口資金貸付は、原則として生活困窮者自立支援制度の自立支援相談事業の利用要件、第三に、生活困窮者自立支援制度との併給を考慮し貸付期間を原則3か月に短縮、第四に、制度の総合支援資金償還期限を10年以内に短縮及び緊急小口資金償還期限を12か月以内に延長、第五に、緊急小口資金の貸付事由の拡

問 町民の相談内容の多い事柄は。生活福祉資金貸付制度見直しの内容。周知方法は。
答 相談内容は平成27年8月末、第一仕事問題、第二に生活問題、第三にメンタルヘルス問題。見直し内容は、第一、生活困窮者自立支援制度と連携し、一翼を担う位置づけ、第二に、制度の総合支援資金及び緊急小口資金貸付は、原則として生活困窮者自立支援制度の自立支援相談事業の利用要件、第三に、生活困窮者自立支援制度との併給を考慮し貸付期間を原則3か月に短縮、第四に、制度の総合支援資金償還期限を10年以内に短縮及び緊急小口資金償還期限を12か月以内に延長、第五に、緊急小口資金の貸付事由の拡

問 町民の相談内容の多い事柄は。生活福祉資金貸付制度見直しの内容。周知方法は。
答 相談内容は平成27年8月末、第一仕事問題、第二に生活問題、第三にメンタルヘルス問題。見直し内容は、第一、生活困窮者自立支援制度と連携し、一翼を担う位置づけ、第二に、制度の総合支援資金及び緊急小口資金貸付は、原則として生活困窮者自立支援制度の自立支援相談事業の利用要件、第三に、生活困窮者自立支援制度との併給を考慮し貸付期間を原則3か月に短縮、第四に、制度の総合支援資金償還期限を10年以内に短縮及び緊急小口資金償還期限を12か月以内に延長、第五に、緊急小口資金の貸付事由の拡



入学式も混合名簿順に！

問 混合名簿は新学期から導入されるか、導入に当たっての取り組み内容、進捗状況は。
答 4月の入園式、入学式、始業式から導入。教職員の共通理解をへて、子どもたちへ説明。家庭への周知を行いな

問 混合名簿は新学期から導入されるか、導入に当たっての取り組み内容、進捗状況は。
答 4月の入園式、入学式、始業式から導入。教職員の共通理解をへて、子どもたちへ説明。家庭への周知を行いな



みやざと あゆみ 議員

生活困窮者対象の無料・低額診療を受信された町民はいるか

無料・低額診療へつないだ事例はあるが、受診した町民の人数は把握していない

問 子育て・子どもの貧困問題について伺う

答 子育てと親の介護が同時進行する「ダブルケア」について、本町の状況は、人数把握はできていないが、平成28年度の保育所の利用申し込みの際に介護を理由とする申込人数7件。 ※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。

福祉・医療サービスを問う

問 那覇市が今年度から生活困窮者の為に薬代の助成事業をはじめたが、本町では。

答 那覇市担当課によると、平成28年4月開始予定だったが、薬局登録など現在準備中であり、外部提供できる資料はないとのこと。本町は、公的扶助制度との兼ね合いなどを慎重に検討し、さらに政府が検討している医療機関と薬局の分業に関する規制緩和の動向も注視し、調査研究。

問 障害者総合支援法の介護保険優先原則により、重い障害者が65才になると障害福祉サービスから介護保険に移行しなければならぬ。移行、サービスを併用

課税誤りで、国民健康保険税に与える影響は無かったか

平成26年度、27年度において影響は出てない



わたなべ まさし 議員

税務行政について

問 平成27年度の住民への周知と対応策は。

答 固定資産税納税通知書へチラシの同封、町広報誌への掲載、町ホームページへの掲載を行っている。

問 平成27年度で、同様な課税誤りは防げたか。

答 平成27年度に、住宅用地に対する特例措置の適用誤りを要因とする税額更正は10件あり、迅速、適切に処理を行なった。

外国大学について

問 平成28年度予算計上されていなくても今後の展開を伺う。

答 「知の拠点」をテーマとしたまちづくりとしては、予算計上はないものの引続き情報収集や方向性の検討、具体的な取り組みを継続して検討している。



外国大学の誘致予定の米軍基地

指定管理者制度について

問 利用料金の徴収で、条例に明確に定められていないが、他の条例や規則等で掲げる類似した利用料金を徴収することは妥当か伺う。

答 条例に定める、指定管理者が地方公共団体の承認を得て利用料金を定め、施設使用者から利用料金を徴収し指定管理者の収入とすることができ、本来利用料金は条例で定めるべき事項であり適正な取り扱いではない。

災害時対策は

問 災害時避難の要支援者の個別計画が現在何%くらい作成済みで、策定完了はいつ頃か。

答 本町では、平成26年度に避難行動要支援者名簿の作成し、平成27年度に本町地域防災計画を改訂。本町は、個別計画以前に、その前提となる避難行動要支援者名簿の正確性の確保や全体計画の策定を優先して取り組む必要がある。災害発生時に要支援者だけでなく避難支援者も含めた双方の生命を守るという重要な使命を達成するため、国の示した指針を調査研究しながら、行政内部で連携を図り取り組みを推進。

問 外国語での災害時のエリアメールの検討は。

答 外国人観光客も多く訪れる本町は、多言語による災害

学校給食について

問 町では、給食センター整備による学校給食費が値上げするかを伺う。

答 現在、学校給食センター施設整備をすすめているが、新しい学校給食センターを整備する理由とした学校給食費の改定は考えてない。

問 消費税増税および食材費等の価格上昇による給食費の値上げが検討されているか。

答 学校給食費は平成21年度の改定以降、6年間変えてない。

子どもの貧困対策は

問 北谷町の貧困率を公表すべきでは。

答 貧困の把握ができないため公表できない。 ※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。

海業振興センターについて

問 北谷海人市場の平成27年度及び平成28年度の予算額及び財源を伺う。

答 平成27年度（平成26年度繰越事業）は、予算額1千80万円その財源は国庫支出金（地域活性化・地域住民生活等緊急支援助交付金の地方創生先行型）748万9千円、一般財源331万1千円。平成28年度は、予算額2千496万4千円である。その財源については、一般財源とする。



海んちゅワーフの運営費の負担は？

動物愛護について伺う

問 幼少期からの動物愛護教育は。

答 例年5月から6月にかけて狂犬病の集団予防接種実施会場及び日々の町内巡回業務や早朝・夜間のパトロールを通して、人と動物が共に生きていける社会の実現を目指し、指導、啓発を実施している。

問 猫の避妊、去勢手術を助成している市町村があるが、本町でも同様に取組めないか。

答 県内にて、観光地周辺の環境美化を目的として一括交付金を活用した所有者不明猫の避妊・去勢手術を石垣市と那覇市が実施。石垣市が平成24年度から平成25年度の2年間、那覇市は、平成26年度から3年間を計画・実施。実施してきた市町村等の状況、意見等を聴取し、関係機関と調整し調査研究。



防災活動の行政区会議

猫の耳カットって？

猫の片耳のV字カットは、不妊去勢手術済みの印です。これ以上みえることはありません。どうかあなたかく見守ってください。北谷町での実施は？



よぎ 眞 議員

Q 道路拡張・改良の必要性を強く要望してきたその後の事業進捗状況は

A 町としても平成24年8月に沖縄防衛局長及び嘉手納基地第18航空団司令官に、交通渋滞緩和対策を要請

問 上勢55号線は既に拡幅工事をするために数年前に一部用地が買い上げされているが進捗状況は。

答 平成26年度に修正設計業務を完了。これまで設計精査、権利者関係の整理等を行っており、平成28年度には、建物補償の業務を行う予定。本格的な事業着手の前に、今月の30日に関係権利者等を対象と

問 砂辺馬場公園北側の砂浜ビーチの整備は

答 砂辺馬場公園北側の砂浜は、沖縄県において策定された「琉球諸島沿岸海岸保全基本計画」の対象区域に含まれている。これまで県に対して当該砂浜への砂の補充に関する文書での要請は行っていないが、県中部土木事務所へ砂補充について問い合わせ



利用者の多い海岸の整備予定は？

た。今般、当該砂浜の実態調査を行い砂の減少の確認がとれば、本計画に基づき県海岸防災課及び日常管理を行っている、県中部土木事務所へ要請を行っていききたい。

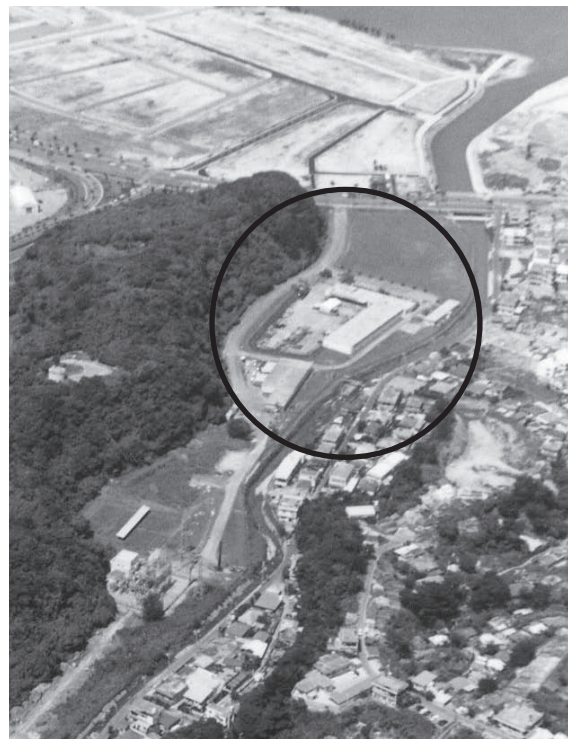
※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。



きゆな もりみつ 議員

Q シーポート北谷カーニバルの開催当初の主旨、目的について伺う

A 美しい西海岸を海のまつりで統一し、広く県内外にアピールする為、手作りのイベントを企画、開催



返還すれば夢が生まれる北谷城と白比川横広場の活用は

問 北谷城が返還され、白比川横の返還跡地を活用し、町内の有名アーティスト、民謡歌手、エイサーや古典伝統芸能など、北谷町のソフトラワーを集結した祭りを開催できないか伺う。

答 その夢は3年、4年後になる、商工観光課として町の発展活性化に向けて、一つでもイベントが今後の町のため発展に結びつけられれば、支援も検討も一生懸命やっていきたい。

問 9月の一般質問で社会教育団体の新たな支援方法として4つの提案をしたが、進捗状況を伺う。

答 ①個人向けにカード、発行する場合、加入状況の把握が難しい、発行も難しいと考える。②平成28年度予算に広報誌等の印刷製本費の予算を計上し、支援を行っていく。③防災無線などを活用して、地域の皆様がエイサーへの理解を深められるよう、周知に取り組んでいく。④平成28年度予算に地域単位のリーダー宿泊研修会ができるよう計上している。

北谷町のイベント、祭りについて

社会教育団体について

「ちゅらーゆ」の活用法について

問 当初の事業目的、施設の基本的な考え方について伺う。

答 サンセットビーチの景観や周辺商業施設との相乗効果を意図した健康関連施設、リラクゼーションやリフレッシュメントの機能、健康回復機能を併せもった施設整備目標を立て、「ちゅらーゆ」の建設を行った。

問 更なる観光振興、地域住民の福祉向上の為に「ちゅらーゆ」の増築・改修は出来ないかを伺う。

答 老朽化した施設の修繕工事を行っている、年間で繁忙期と入湯客数が少ない時期があり入湯客数を増やすためのソフト面の対策、今後の施設増改築を含め、利用者の施設利用満足度を高める対策を検討していく。

道路行政を問う

問 馬場公園に通ずる砂辺5号線の道路(砂辺68番地)付近は、拡張が出来る状況にある。当局は拡張工事について検討したことがあるか伺う。

答 当区間沿線の宅地については、沖縄防衛局によつて連続的に土地の買い上げがなされており、防衛局との調整次第では、買い上げた土地を借用し道路拡幅の可能性があったことから、昨年、管理している防衛局の関係課へ問い合わせを行った。防衛局担当課と詳細な協議を交わし、同管理地を無償で借り道路を拡幅する事はもちろん、その背後地を砂辺馬場公園等の駐車場として整備を行っていく事を予定。



砂辺5号線の拡張は？

港地区の護岸整備は

問 数年前に、県の所管担当職員と町の担当課が立ち会いのもとに港地区の護岸整備に町が整備する事になったが、整備の進捗状況は。

答 工事の全延長が約320メートルのとなっており、平成27年度は100メートル実施。残りの220メートルについては、平成28年度に実施する予定。



改修が済んだ護岸フェンス

護岸整備について

問 北前の護岸整備のその後の進捗状況について伺う。

答 現在は、ブロック積壁から転落防止フェンスへ構造を変更に施工を完了した。



人気のあるリゾートウェディングに活用されるチャペル

ング実施組数は、1477組と報告され、リゾートウェディングを取り扱う町内関係企業数は、リゾートウェディング等を含め、8社。



なかえま えみこ 議員
仲栄真 恵美子

Q 環境汚染物質について、他に人体に影響を与える物質はなかったか

A たダイオキシン以外の汚染物質は、全て土壌汚染対策法に定める環境基準値以下であったとの報告を受けている

問 これまで住民から区画整理地から異物が出たという苦情や相談は無かったか。また、近隣住民の話では、町に訴えがあったと聞いている、その時の対応は。

答 平成11年に住宅建設の過程で廃棄物があった旨の報告が当時の区画整理事業担当課に対してあったと聞いている。報告及び相談は、正式な文書及び訴状等は無かったと認識している。

問 住民からの土壌汚染についての相談はないか。土地を提供した側としてどう考えているか。

答 汚染状況及び住民説明会開催の有無などの問い合わせが数件あった。米軍由来の汚染物質が検出されたことは本町といたしましても大変遺憾である。本町議会とともに日米両政府の責任において有害物質の調査等を行うよう国に要請した。

返還基地跡地の現状について



汚染の調査はこれから

高齢者福祉について

問 平成28年度介護保険給付を活用する、町独自の補助メニューを取り組むそうですが内容を伺う。

答 助成対象者は、本町に住所を有する65歳以上の者で、要支援、要介護認定を受けていない者、基本チェックリストの特定の基準に該当する者の助成を受けたことがない者、町税及び介護保険料の滞納のない者。助成対象工事は、居室、浴室、洗面所、台所、便所、玄関、廊下などへの手すりの設置及び段差緩和用踏み台設置に係る工事。助成金額は、1世帯につき5万円以内。

問 補助金を使った改修について町は、どのような関わり方をするのか。

答 申請受理、助成決定、助成金支払等の事務処理と基本チェックリストの情報等をもとにした対象者の抽出、自宅訪問による工事内容の確認等を予定。

問 広域連合の介護保険を活用した住宅改修の実績は。

答 平成27年4月から平成28年2月までの11ヶ月間の実績は



子ども子育て支援について

問 高校生の奨学金活用状況を伺う。

答 貸与の対象者は、学校教育法に定める大学、高等専門学校及び専修学校に在学している者となっており、高等学校生についての貸与は行っていない。

※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。



たかやす かつなり 議員
高安 克成

Q 職員からノロウイルスが検出され、簡易給食となった経緯を伺う

A 平成28年1月8日（金）、検査機関より1月6日の検査者に1名のノロウイルス陽性者を確認。子ども達への感染を防止する観点から1月12日（火）から1月15日（金）まで給食を停止

給食センターについて

問 委託を進める事に北谷町PTA連合会の要請を含め、庁議で諮るといふ事でしたが、詳細を伺う。

答 町PTA連合会との調整を図り、その後、庁議に諮る予定。

問 家庭でも普段使っているので、食育という意味でも食器は陶磁器であるべきプラスチックではなく割れにくい陶磁器等もあるのでは。検討しては。

答 強化磁器は、家庭的で親近感と安心感がある。破損と重いのが短所。児童生徒の安全を配慮し、PEEN製食器が適切と判断。

ごみについて伺う

問 本町から処分される燃えるごみの量と処理費、生ごみの量と処分費は。

答 平成26年度のごみの量約11・686トン。内訳は家庭系ごみ約6・074トン、事業系ごみ約5・612トン。その中で可燃ごみは、家庭系ごみ約4・616トン、事業系ごみ約5・280トン。平成26年度は、搬入量1トン当

18歳選挙権について

問 夏の参議院選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下がる。若者の声が反映され、若者に必要な施策の実現、政治を身近に感じるためにも、主催者教育が必要だが、周知や取り組みを伺う。

答 横断幕のぼり等を活用し、丁寧で幅広い広報啓発活動を行っていく。

問 意識啓発に模擬投票や

ワークシヨップは。

答 本町選挙管理委員会はこの活動を実施するために、他部署との協議・連携が必要で、すぐに実行することはできない。



子どもの貧困について

問 「実態調査を含め対応は。県が実施したアンケート等を参考に、検証します。※詳細は特集28〜29頁をご覧ください。

住民サービスについて

問 証明書等のコンビニ交付を検討しているとの事ですが、費用や時期は。

答 具体的な時期や費用について示せる段階ではない。各種証明書のコンビニ交付は実施へ向け進めている。

問 那覇市で特定健診の「ナイト検診」を1月に実施。本町でも休日・夜間サービ

スを実施出来ないか。

答 夜間の集団健診実施は、実施市町村、関係機関等から情報を聴取し調査研究。

認知症について

問 人数等の把握は。

答 平成27年3月末日時点で、956名。但し、「何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している状態」の軽度の認知症の方も含まれている。



※他に次の質問がありました。詳細は会議録を参照してください。

問 給食センターについての一部。

問 認知症について。

問 上勢頭の地区等の汚染について。

問 道路標識について。

として47件。総額約5006万円、1人当たり平均約10万7千円。

問 介護保険料の未納者の実態について伺う。

答 平成26年度以前の介護保険料滞納者は、356名であり、滞納金額の合計は約2千360万円。

特集

一般質問で
12人が質疑!

どうなる 子どもの貧困対策!!

国が10億円を計上! 財源の行方は!?

北谷町の現状が明らかに!!

町が取り組む貧困対策はこれだ!!

Q 町内の子供の貧困状況は?

A 沖縄県の子供の貧困率は29.9%で、市町村ごとの貧困率の把握はできていない。本町の子供の貧困の実態について、県が実施したアンケート調査等を参考に実施把握について検討したい。

北谷町の各データQ&A

①一人あたりの所得は? ①平成24年沖縄県市町村民所得によると、252万3千円 (県内4位)。 *県内4位ってすごい!...でも*

②母子世帯出現率は? ②沖縄県一人親世帯等実態調査報告書によると、8.89% (県内1位)。 *なぜだろう?*

③生活保護率は? ③1.429% (県平均2.271%) *低い保護率みんな制度のこと知らない?*

④就学援助率は? ④平成28年3月の受給者数は、小学生18.5%、中学生19.4% 県平均 (25年度データ 19.65%)。 *新学期におしらせ! 活用*

⑤児童扶養手当受給率は? ⑤平成27年度8月の市町村別受給資格者率によると5.78% (県平均3.98%、県内1位) *所得格差が顕著!*

1. 子どもの貧困対策支援員の配置!!

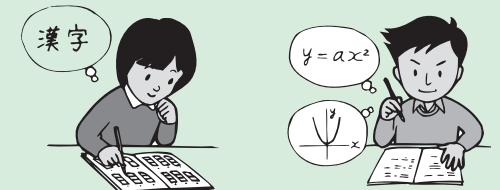
支援員とは 支援を必要とする子どもたちの現状を把握し、地域の施設やNPOなどに結び付けるコーディネーター的な役割を果たす人。



2. 東部地区で既存の公共施設等を活用した「学習支援事業」を予定!!



<無料学習塾>
入塾には条件の制限あり



成果が上がり、27年度受験生全員合格
← 県費でNPO法人運営のエンカレッジ (美浜在)

3. 深刻化する子どもの貧困に早急に対応する為、「子どもの貧困対策庁内連絡協議会」を設立!!



名嘉座 米子

北谷町母子保健推進委員を三年近くつとめた名嘉座米子さんに「議会だより」についてお話を伺いました。

議会だよりは毎回読んでいますか。名嘉座.. 毎回ではないがよく読みます。特に一般質問のページは大変興味深く読んでいます。

読まれた感想はいかがですか。

名嘉座.. 知っている議員の方などのような質問をし、どのような活動をし、またどのような考えでいるのかを知ることができ、皆さん、よく頑張っていると思いますよ。

議会あるいは議員に望む事はありますか。

名嘉座.. いつも登校時間に交通安全見守り活動をなさる方達のお話を聞くこと見守り活動をする方が少ないようですが、なかなかボランティアを集める事は難しいそう

です。私も若いころから参加していれば継続できていたと思います。今から新たに参加する事はできません。こういう事に町民の参加を公に募集すれば良いのと思っています。主人が個人タクシー現役のころはよく安全用の黄色のジャケット、黄色の帽子着用で交通安全運動に当番制で参加していました。だから父ちゃんが行くから私はいいかなと見過ごしてきたところはあります。しかし町内の子ども達を見守るために町民の皆さんで少子化時代の子ども達を見守ってあげたいなと思います。協働のまちづくりと言いますが、こういうところから始めていくのもいいのではないですか。これからも議会だよりを読んで、町の動きを知っていききたいと思

名嘉座さんありがとうございました。



平成 28 年 6 月定例議会 傍聴へ行こう!!

インターネットで町議会を知ろう!! 議会の日程についてもホームページでお知らせしております。

北谷町 HP

北谷町議会

議会議事録公開

平成 28 年 6 月 8 日 (水) 開催予定

本会議を行う議場では、手話通訳を御利用になれます。

あなたも町議会を傍聴してみませんか?



・手話通訳は、傍聴予定日の7日前までに議会事務局へお申込みください。

詳細は北谷町ホームページで検索サイトで クリック!

HP アドレス : <http://www.chatan.jp> 【お問い合わせ】 議会事務局 ☎936-3382 FAX936-9712

編集後記

どこの職場や学校でも新年度を迎え、緊張感や期待感に満ち溢れ躍動の時期かと思えます。

自然も、色とりどりの花たちが咲き誇り、まるで、年度初めを祝福しているかのようです。

北谷町の三月の定例議会は、三月二日から二十五日までの中で、平成二十八年度百五十億円余の予算が原案通り可決されました。

町議会は可決された百五十億円余の予算を、行政当局が住民福祉の向上と町の発展の為に活用していくことを見守り、チェックしていく大事な作業が始まります。町民の声を、議会の場で町政へ反映するよう働きかける付託の重要な仕事です。

年度初め、広報委員会は新たに気を引き締め、広報活動に従事し、皆さんに議会の活動内容をお届けします。毎度ですが読者の皆さんの声が、広報委員のエネルギーとなります。今年度も「議会だより」ご愛読下さり、お声をお寄せ下さい。宜しくお願い致します。

議会広報調査特別委員会 委員長 仲栄真恵美子

ご意見・ご感想はこちらへ



北谷町議会事務局

TEL: 936-3382

FAX: 936-9712